

歳出予算事業概要書

款	項	目	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	26000000
						うち復活額	一般財源	所属課名		
09	教育費	01							教育総務課	
	01	教育総務費								
		02	327	204	198	198	0	0		
		02								
大事業	012	いじめ対策事業								
中事業	00									
小事業	00									
細事業	0									
			財源内訳							
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
				0	0	0	0	198		
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳	
【事業概要】 臨床心理士に児童生徒の心の悩みに関するアンケート分析を依頼し、いじめ等様々な角度から検証を行い、希望に応じて児童生徒および保護者のカウンセリングを行います。						区分			金額	
【事業の必要性】 児童生徒の心の悩みが深刻化し、自殺に至る子どもも少なくありません。いじめ他様々な事柄や子どもや保護者の悩みを解決したり、心の病気(心理病)の早期発見を図るため、専門的視野や手法を持つ有資格者と学校が連携を図る必要があります。						金額			財源	
【実施期間】 4月～3月						1 報酬			198	
【全体事業費】 198,000円						4 共済費				
						8 報償費				
2. 根拠法令										
3. 用地の状況										
4. 基本計画との関連										
【第1次総合計画】 次代を担う心豊かな人が育つまちづくり(学校教育の充実)										
5. 本年度の計画効果										
【今年度の事業内容】 町立各小中学校において、いじめ等で児童生徒が心の病気に陥っていないか臨床心理士の助言のもとに学校等関係者がケアを行います。										
学校・家庭生活に関するアンケートを2学期に行い、カウンセリングを児童生徒と保護者に実施します。カウンセリング実施者には、児童生徒の心の状況把握のために結果を文書で報告して保護者不安の解消を図ります。また、専門的ケアが必要な児童生徒には、専門機関等の相談にもつなげていきます。										
【全体事業とその効果】										
アンケート及びカウンセリングにより、専門的ケアが必要な児童生徒の発見や学校や保護者が連携することで子どもの心の問題・不安解消にもつながっています。										
児童生徒の心の悩みはいじめに限らず複雑化・深層化しており、専門家による関わりが一層必要となっています。										
6. 財源の説明										
【一般財源】 198,000円										
目的別										
性質別										